

受入団体名： うちラボ

プロジェクト/団体プログラム名：
しゅくだいかふえ

募集人数

10名

<活動期間:2024年 10月 1日～ 2024年 1月11日 活動日数:8日程度>

<活動日or 活動パターン>

週1日程度・定例、月1～2回・不定期 その他

<活動の流れ>

| 日時 | 活動内容 |
|---------|--|
| 10/8(火) | オリエンテーション:5限終了後、宿題カフェで顔合わせ(10月の日程確定後、変更の可能性あり) |
| 10月以降 | 火、金曜日に交流スペースで小学生の宿題サポートや放課後の時間を一緒に過ごす。 時間帯:15:30～18:30 (曜日は、夏休みに課外活動として参加した学生と相談して変更する可能性があります。ぜひ参加してみてください) |
| | 夏休み、冬休み、春休み期も9:00～18:00で9月は火、金曜日15:30～18:30で実施予定。 |
| | 10月以降は開催場所を増やしていく予定。 学生の皆さんの発想と交渉力に期待しています |
| | |

<主な活動場所>

FICベース株式会社 1階交流スペース
(最寄駅・バス停など:)

<キャンパスからの交通手段>

徒歩、自転車

<活動に必要な費用>

なし

<参加の姿勢>

子どもたちと積極的に関わってもらえれば。そこから色々なことを感じ取って学び取っていただけたらと思います。

<コミュニケーションの手段>

電子メール

LINE 電話

その他()

<活動のテーマと主な内容>

こどもたちが安全に関われるつながりを増やす

地域とのつながりが少なくなっている現代で、孤立した子育て環境が増え、こどもにとっても身近な大人は親か先生という環境があたりまえになっています。小学校も4年生からは学童もなくなり、家で一人で留守番している子も多くなっています

昔のように地域の中でこどもたちが過ごせる場所がなくなっていくことで、こどもたちの人間関係は同世代の友達と身近な大人で閉じていってしまい、身の回りの当たり前がその子自身の当たり前にもなっていき、場合によってはそれがその子自身の辛さやしんどさにつながってしまうこともあります。

そうなる前に、一つでも多く、こどもたちにとって安心、安全な居場所を作ることで、何かあっても心が少し元気になれる場所や人間関係を作り、こどもたちが心から楽しいと思える時間と場所を作ります。

<活動する現場で学生が求められる背景(理由)>

こどもとの関わりにおいて、双方にとって大きなメリットがあると考えています。

こどもたちにとっては、大人とは違う少し自分に近い存在。とても頼れる少し年上の先輩として関わることができます。いろんなことを知っている大人だからこそ相談できることもあるのですが、一緒になって悩んで考えて、自分自身に向き合ってくれてると強く感じられる存在として、学生が関わってくれることで子どもたちの表情が明るくなっていくことはよくあります。

<学生が期待できる学び>

多様な視点を獲得できます。

様々な家庭と関わることになります。発達特性のある子もいれば、何か人間関係のトラブルを抱えている子、勉強もできる子もできない子もいます。

こどもたちと関わることで、いろんな親や家庭や学校など、成長の過程に関わることになります。

継続して参加してくれた学生さんたちにとって、改めて自分自身の今までを振り返り、これから何を大事にしてどう生きていくのかを考えるきっかけになっています。

また、世代を超えて街には多くの本当に多様な考えを持った人たちがいることを実感してもらえる時間になります、

<活動紹介> 10月～1月の授業期間



・通常は15:30から18:30まで。
小学校の6限が終わってそのまま来るとちょうどこの時間に。

晩御飯ができる頃に家に帰れるように実施しています。

宿題も終えて、今日1日の楽しかったことをお家で話してもらえるように、楽しい時間を過ごしてもらっています。

お迎えに来る親御さんも多く、そこで親御さんとのコミュニケーションもしています。



<活動紹介> 長期休み中のボランティア参加 (夏休みに参加しておくと、授業で優先して参加できます！)



8月：夏休み版を2,9,15,22日に実施。9:00～18:00
9月：火、金曜日に交流スペースで。15:30～18:30

- ・長期休暇の取り組みは9時から18時まで。宿題の完成のサポートをしつつ、一緒にご飯を食べたり、室内外での遊びを通じて子どもたちとの関係性を作ります。親にも安心して預けていただいて、のんびり過ごしてもらう1日にしています。

